

目標管理型の政策評価に係る評価書の標準様式

別紙2

(環境省25-34)

施策名	目標7-4 環境保健に関する調査研究				
施策の概要	健康被害をもたらしている可能性が指摘され、国民的な関心は高いが因果関係は科学的には明らかにされていない種々の環境因子について、調査研究を推進する。また、既に明らかになっている知見について、一般に分かりやすく情報提供を行い、必要な対処等を行うよう意識啓発を進める。 ①花粉症についての情報や花粉の飛散予測等について、一般に情報提供を行い、花粉症の発症・増悪の予防を進める。 ②黄砂の健康影響についての実態を明らかにし、必要に応じて適切な対応を検討する。 ③熱中症や紫外線、電磁界の健康影響について、科学的な知見を収集し、一般に普及啓発を行う。				
達成すべき目標	花粉症、黄砂の健康影響、熱中症や紫外線、電磁界の健康影響について調査研究を進めるとともに、一般に普及啓発を図る。				
施策の予算額・執行額等	区分	22年度	23年度	24年度	25年度
	当初予算(a)	30,453	24,393	26,364	25,480
	補正予算(b)	0	0	0	0
	繰り越し等(c)	0	0	(※記入は任意)	
	合計(a+b+c)	30,453	24,393	(※記入は任意)	
執行額(千円)	26,292	24,265	(※記入は任意)		
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	-				

測定指標	1 熱中症対策講習会受講者数	基準値	実績値				目標値	
		年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	年度
		-	-	-	-	-	1194	-
	年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	2000	-
2 花粉飛散の予測モデルの精緻化及び花粉症についての普及啓発	施策の進捗状況(実績)						目標	
	花粉の飛散予測については、予測に関する報道発表を2回から3回に回数を増加						年度	
3 黄砂による健康影響についての調査研究の進捗状況	施策の進捗状況(実績)						目標	
	黄砂の健康影響についての知見を収集するとともに、次年度に実施する疫学調査の研究計画を策定						年度	

施策に関する評価結果	目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ○花粉の飛散予測については、予測回数を増やすことができた。 ○黄砂の健康影響についての知見を収集するとともに、次年度に実施する疫学調査の研究計画を策定した。 ○熱中症についての普及啓発資料を作成配布するとともに、熱中症対策講習会を実施し、1200名弱の参加者を得られた。
	目標期間終了時点の総括	-

学識経験を有する者の知見の活用	それぞれの事業において、専門家による検討会を設置し、意見聴取を行っている。
-----------------	---------------------------------------

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	平成24年度熱中症対策に係る地方自治体等担当者向け講習会開催業務報告書 平成24年度花粉症に関する調査・検討業務報告書 平成24年度黄砂による健康影響調査検討業務報告書
---------------------------	--

担当部局名	環境保健部 環境安全課	作成責任者名	上田 康治	政策評価実施時期	平成25年6月
-------	-------------	--------	-------	----------	---------